

2019年12月16日

岐阜県岐阜市

トーテックアメニティ株式会社

株式会社三重電子計算センター

自治体窓口のIT化を推進
岐阜市における証明書申請受付システムの導入

岐阜県岐阜市（市長：柴橋正直、以下岐阜市）およびトーテックアメニティ株式会社（本社：愛知県名古屋市、社長：坂井幸治、以下トーテックアメニティ）、株式会社三重電子計算センター（本社：三重県津市、社長：小柴眞治、以下三重電子計算センター）は、住民票・印鑑証明等の証明書申請を支援するシステムである「まどぐち君@蔵 station」を、23日より岐阜市市民課にて稼働いたします。

本システムは、マイナンバーカードやぎふ市民カードを使った本人確認により申請書の記入負担を軽減するとともに、外国語によるガイダンス機能を備えており、証明書の申請における利便性を向上させております。

また、市職員にとっても、システム入力の負担や、外国人住民への案内等が軽減され、働き方改革の実現にも寄与するものと考えております。

岐阜市では、この新たな KIOSK 端末^{*1}を設置することで、一層の住民サービス向上が可能となります。

【背景】

岐阜市では、2016年からコンビニエンスストアにおける証明書交付（コンビニ交付サービス^{*2}）を実施しており、住民票・印鑑証明・戸籍証明等を取得できる環境を整備しております。そして、今日「まどぐち君@蔵 station」を導入することで、コンビニ交付の利便性を岐阜市庁舎でも実現できます。また、昨年9月にサービスが終了した証明書自動交付機に代わる市民サービスの代替にもなります。

【機能】

今回、まどぐち君@蔵 station により提供する機能は下記の通りとなります。

①証明書申請受付

KIOSK 画面の入力で申請データの作成ができ、申請書の記入負担がなくなります。

コンビニ交付における証明書発行システムと連携しており、操作もコンビニ交付に準ずるものとなるため、利用者の操作も簡単です。

また、市職員の申請事務が軽減されるため、利用者の待ち時間の短縮が図れます。

②マイナンバーカードによる本人確認

証明書申請者の本人確認手段として、マイナンバーカードと地方認証プラットフォーム^{*3}を使った JPKI 認証を実装。

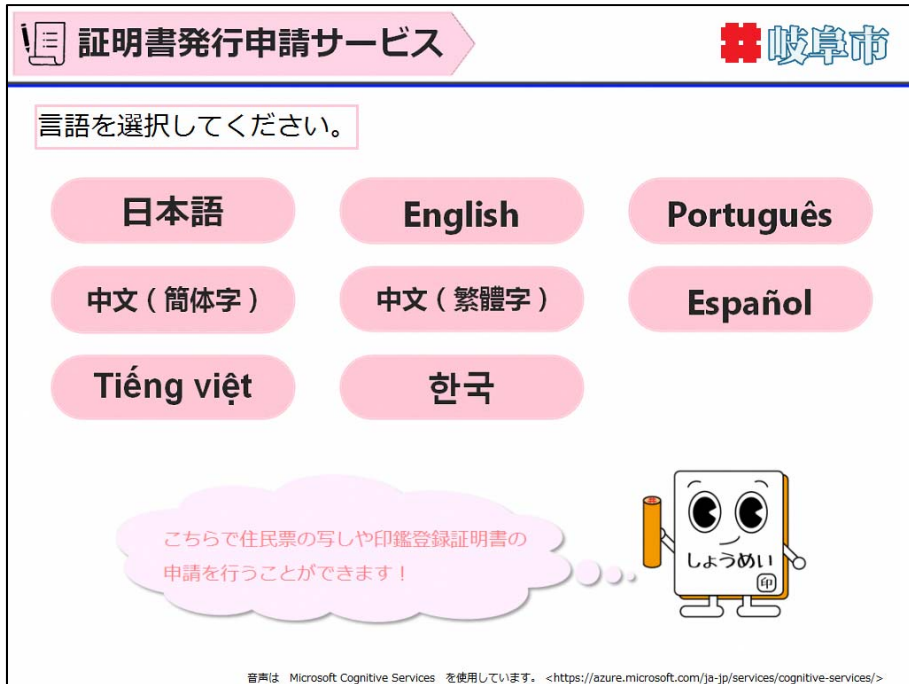
（印鑑証明に関しては、従来の「ぎふ市民カード」の利用も可能）

なお、マイナンバーカードの電子証明書のみを利用しており、券面や IC チップ内のマイナンバーは使用していません。

③多言語対応

画面と音声ガイダンスに8ヶ国の言語を実装し、外国人住民も操作可能です。

（日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、韓国語）



【図 1 まどぐち君@蔵 station ポータル画面】



【図 2 マイナンバーカード利用時のガイダンス画面】

【利用効果】

住民票の申請から作成までのトータルの時間が、1/2 程度に削減されることが期待できます。

(マイナンバーカードによる本人確認の場合)

また、外国語によるガイダンス機能により、専属職員による翻訳が一部不要となります。

【利用開始時期】

2019年12月23日（月）～

【設置場所】

岐阜市 本庁舎1階 市民課受付

【注釈】

***1 KIOSK 端末**

今回の KIOSK 端末には、株式会社 PFU 製「MEDIASTAFF TM モデル」を利用。

***2 コンビニ交付サービス**

コンビニ店内の複合機による証明書発行サービス。2019年10月時点で653市区町村が稼働。

***3 地方認証プラットフォーム**

コンビニ交付サービスの JPKI 認証基盤を活用したマイナンバーカード内の電子証明書の失効確認（有効性確認）ができる仕組み。地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が地方自治体に提供するプラットフォーム。

本件に関するお問い合わせ

岐阜県岐阜市

市民生活部 市民課 総合窓口準備係

☎058-265-4141（内線2441）

受付時間：9:00～17:30（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

トータックアメニティ

経営管理本部 事業支援部 事業支援グループ

☎052-533-6917

受付時間：9:00～17:30（土曜日・日曜日・祝日・トータックアメニティ指定の休業日を除く）

三重電子計算センター

第2営業統括部 ソリューション営業部 パートナー営業グループ

☎059-225-1111

受付時間：9:00～17:30（土曜日・日曜日・祝日・三重電子計算センター指定の休業日を除く）